



ソフトボールで日本一！ 少年団と表敬訪問

第20回都道府県対抗全日本中学校ソフトボール大会で鹿児島選抜チームが見事初優勝し「オール肝属」に所属するメンバー3人が受賞報告に4月1日(月)、町長を表敬訪問しました。本町からは大崎中学校3年生東條^{たける}壯留さんが出場しました。東條さんは「優勝できて嬉しかった。夏の大会では自分のチームで全国大会を目指し頑張ります」と意気込みを話してくれました。

また同日、大崎ソフトボール少年団も訪れ、鹿児島県ちびっこソフトボール大会において昭和49年第1回大会からの50回連続出場の記念表彰の報告をされました。本大会は県内最大規模の大会で、平成20年には230チームの参加でしたが、少子化、学校の統廃合により徐々にチーム数も減っています。町内では持留、大丸、中沖の4つのチームがありましたが現在は合同チームとして大崎ソフトのみの活動になっています。

新留勝郎名誉監督は「上を目指し練習し、プロ野球選手を目指し努力してほしい」と話されました。



みんなの交通安全教室の開催

4月7日(日)、志布志警察署の協力のもと、大崎町老人福祉センターにおいて「みんなの交通安全教室」が開催されました。近年大崎町では、外国人の技能実習生が増えているので、外国人のいる企業に声をかけ約40名の方々にお集まりいただきました。

技能実習生の方々の主な移動手段は自転車ということで、自転車の点検の仕方や交通ルール、ヘルメットの着用、左右確認等の安全運転についての話がありました。1時間弱の教室でしたが、笑いありでみなさん楽しく受講していました。



大崎町内子ども食堂への 応援金の贈呈がありました

大崎町在住の方から、大崎町の子どもたちのために役立ててほしいとの思いで寄付をいただきました。協議した結果、大崎町の子どもたちのために、ボランティアで、栄養のある食事を提供し、アットホームな雰囲気の中みんなで食べる供食の機会を作るなど、子どもの居場所となるよう頑張っておられる大崎町内の子ども食堂に対し、今後の安定した運営に役立てていただくことにしました。応援金は令和6年3月19日、4事業所の代表者にお集まりいただき、寄付者の代わりに町長から、目録と一緒に贈呈しました。